

## 関東甲信越支部長活動報告

2012年6月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

JIA 本部は6月より実質的な新年度に入りました。規程類制定についての準備をはじめ7~8月に予定されている公益認定申請準備のため詰め作業にかかっています。支部では7月の地域サミットでひな形を提示し、9月に会員集会、11月の地域サミットで支部地域会代表との意見交換、横浜大会の全国地域会合同会議での意見交換を重ね、12月には本部が規定する支部、地域会規程をまとめる予定です。7月5日(木)にアーキテクト・ガーデンのファイナルイベントが建築家会館ホールで開催されます。ファッションデザイナー コシノ・ジュンコ先生の講演、おいしい生ハム、チーズ、ワイン、他を用意していますので大勢の参加をお待ちしております。

### 支部長活動報告

- 6日 支部総務委員会に出席する。今年は会員増強、規程類整備が総務委員会ミッションの2本柱だ。国際委員会によるシンポジウムWGに参加する。国際事業を会員にとって身近なものにするため6月、9月、11月にシンポジウムを開催する。テーマは「外に出よう！建築家」。第1回の6月26日JIA会館で開催するシンポジウムについて詳細を確定する。先進国には建築家が活躍する仕事は少なくなっており、RIBAやAIAはお互いを意識しながら国際戦略を練り行動している。今年のAIA大会ではInternational region(国際支部)を設立し、AIA-Japan chapterはその中に組み込まれることになった。アメリカのNCARB(全米建築家登録協議会)は韓国と相互認証に向けた合意直前であり、他のアジア3か国はNCARBと協議のテーブルに付いている。JIAの枠にとられない日本の国際戦略が必要だ。
- 8日 建築士会連合会会長に三井所氏の就任が総会決議された。昨年のUIA東京大会で開催されたセッション「3・11とグローバルデザイン」の出版記念トーク+パーティーが開催された。建築家倶楽部を埋める盛況な会となった。9月に上海で開催される「グリーン建築国際フォーラム」にセッションを持ちたい、と先月の上海訪問時に上海建築学会(ASSC)にお願いしている。
- 11日 シャルロット・ペリアン氏の娘夫妻が来日し、国際委員会若手を中心にした歓待パーティーが建築家倶楽部で開催される。JIAでは珍しく女性出席

- が2/3の会となった。ペリアン夫妻からは、前川國男氏がパリ滞在中に父上より送られてきた日本建築の書籍を見てコルビュジェが近代建築の確信を得た、など興味深い話をしていただいた。
- 13日 12日の前打合せに引き続き JSB の活動部会に参加する。JSB は資金助成するのがミッションで、仕組みを作るのは JIA 並びに構成メンバーである他会メンバー。夕刻、芦原事務所で JIA の国際戦略会議が開催される。芦原会長、岩村前 UIA 副会長、国広アルカシア会長、赤堀国際委員長、筒井専務理事が参加。アメリカは英連邦の障壁を崩す戦略を取り、韓国はアメリカと資格相互認証協定を密に話しており、他のアジア各国もそれに追随している。現在 JIA が持っている国際チャンネル日本国が戦略的に持つべきで、オールジャパンで組織した UIA 東京大会の国内的成果を生かしていくことが必須であろう。
- 14日 本部総務委員会では会員・会費規程類 WG 主査として説明する。
- 15日 支部4役会議並びに常任幹事会を開催する。本年度活動方針の確認。地域会活動助成費の配分割合について協議。支部対外事業（国内、国際）について。新しくできる準会員について協議。9月11日の17:30より支部・地域会規定に関する支部会員集会開催を決める。賛助会との交流会を8月24日夕刻に開催とする。横浜大会で計画されているクルーズツアーの事前体験を兼ねて交流会を開催する予定。正会員の参加を広く募りたい。
- 16日 昨日、軽井沢で開催された常任幹事会に引き続き、朝8時より大会実行委員会学術・運営部会開催。
- 19日 午前中に規程類制定特別委員会、午後本部理事会開催。今年度新体制での理事会で、今後は芦原会長が議長を務める。理事会開催を2か月1回とし、間の月は理事懇談会としてWEB形式を基本とする。オブザーバーとして各支部役員の参加を認める。
- 20日 国際委員会が開催される。国際戦略を具体的に推進していくためWGでまとめていく。6月26日のシンポジウム並びに JIA 横浜大会での国際シンポジウムについて議論する。
- 21日 東京地域連携会議に出席する。建築三会建築会議に代表される他会との連携の中で東京の位置づけ並びに地域会参加率の向上が課題となっている。東京地域会代表並びに支部役員を交えて忌憚のない議論を重ねていきたいと考えている。
- 25日 東京建築士事務所協会総会懇親会に出席する。
- 26日 国際事業シンポジウム「外に出よう！建築家」が開催された。このようなシンポジウムは JIA 国際委員会として初めての試みだろう。中国精華大学と日建設計がインターンシップ協定を締結したが、日建設計の宮川氏がインターンシップの実績や中国での業務経験について講演された。北陸支部では UIA 東京大会準備の過程で、実際のプロジェクトを受注するまでになったが、西川支部長が経緯と成果を講演された。アルカシア（アジア建築

家連合)の国広会長はAIA, RIBAが進めている国際戦略の紹介と日本への激励を講演された。日本の大手設計事務所で活躍しているイタリア人建築家マルコ・コルベッラ氏は日本での実務状況を講演され、建築士会国際委員長柳川氏が昨年11月に開催された日中韓建築協議会について講演された。最後に赤堀委員長が、UIA 東京大会が日本建築界の国際化の出発点となり、他団体、他国と協力しながら若い人、海外進出に迷っている人を後押しする次世代支援プログラムについての講演で締めくくられた。

29日

朝、日本版CABE(建築・まちづくり支援機構)推進の第1回MTGが開催される。日本では1992年に都市計画法が大きく変更され、まちづくりへの市民参加の義務付けが明記された。UIA 東京大会では5会で「建築・まちづくり宣言」を発信したが、具体的な行動として日本版CABEの推進を進めていく。JIA 横浜大会学術・運営部会に引き続き、実行委員会が開催される。夜、建築家倶楽部で清宮さんのご苦労様会が開かれた。清宮さんは38年間JAA-JIA事務局を務められ、多くの先輩たちがお世話になってきた。JIAの後輩たちが来てくれるようにとJIA近くの千寿院(ビクタースタジオの横)に墓を造られた前川國男氏へは定期的にJIAの報告をされてきたそうだ。清宮さん、長い間本当にありがとうございました!!



Perriand-Barsac さんご夫妻を囲む会

清宮さん感謝の会

支部長活動報告 2012年6月

2012年7月3日作成 上浪 寛



「アーキテクト・ガーデン2012」 <http://www.jia-kanto.org/AG2012/>



「一万人の建築家展」 <http://www.10000architects.com/>